

佳作
知らんふり 差別が始まる

第一歩

桂川中3年 加来 佳奈枝さん

03

農業委員会の委員に 藤川直臣さん



農協からの推薦を受け
て藤川直臣さん（土
師7区）が7月31日、桂川
町農業委員会の委員に選
任されました。

「先輩農業委員と協議を
重ねて、農事区の審査などに取り
組んでいきたい」と、抱負を語りま
した。前任者の山辺俊明さん、長い
間お疲れ様でした。

キーワード：農業委員会

農業委員会は、町の行政機関の一つ
です。

農業委員会は、桂川町役場の産業
振興課に事務局があり、主に農地の管
理を行っています。

農業委員会の基本的な考え方は、
農業全般にわたる問題を農業者の創
意と自主的な協力によって総合的な
解決を図ろうとするものです。

また、農家の地位の安定と生産力の
増進を図れるように毎月1回、委員会
を開き審議をしています。

テーマ別ミーティング報告③

6月29日開催の「家庭・地域・学校と子どもたち」パート2

「趣旨」一人の親として、地域で子どもを見守る一人として、子どもたちを健全に育てるためには、どんなことができるか、どんなことをしなければならぬかについて、それぞれの立場から様々な考えや意見を、提案していただきました。（参加者：28名）

- 子どもたちの体力低下が心配です。学校でも天気の良い日は、屋外での遊びを推進してもらいたいと思います。
- あいさつ運動などは、行政任せでは無く、それぞれの地域で志のある人が動くスタンスがよいのではないかと思います。
- アンビシャス活動の状況ですが、桂川東小学校区では「おはよう会」が体育館を中心に週2回、桂川小学校区では、福岡県の補助事業の改編により従来の「夢・人・未来塾」でのバドミントンを開催しています。
- 学校内で行われている取り組みでは、現在、学校の正規の授業に、学習支援ボランティア形式で地域の人が参加する動きが増えています。桂川町でも校長会に「夢・人・未来塾」の活用を依頼しており、今年度から少しずつすすんでいく状況です。
- また、「夢・人・未来塾」は子どもだけの体験学習のように思われていますが、大人が初めて経験することも多いので、大人の勉強にもなっています。
- 地域活動指導員は、学校で習うことが少ない体験型学習（茶道や絵手紙など）を展開しています。
- 地域の一人人として子どもたちを指導することは難しいかもしれませんが、見守る立場で子どもたちと接することは大切ですね。子どもたちとともに汗を流したり、心をぶつけ合ったりと子どもたちと信頼関係を築いていくうちに、子どもたちの素顔を見ることができると思っています。
- PTAなどを離れた人たちは、学校で何が行われているのか分かりません。学校の行事に参加することも難しい。学校だよりなどを閲覧板を利用してまわしてほしいですね。

次号（10月号）では、8月30日開催のテーマ別ミーティング「こみの減量化と環境美化」について報告を予定しています。